

令和元年度 公益社団法人大気環境学会 事業報告
(令和元年7月1日～令和2年6月30日)

1. 会員の状況

| 種別 | 令和元年6月30日 | 令和2年6月30日 | 差引増減(△) |
|-------|-----------|-----------|---------|
| 正会員 | 809名 | 764名 | △45名 |
| 法人会員A | 122名 | 119名 | △3名 |
| 法人会員B | 52名 | 49名 | △3名 |
| 学生会員 | 91名 | 48名 | △43名 |
| 賛助会員 | 16団体(19口) | 16団体(19口) | - |

正会員数は、平成30年度は44名の減少であったが、令和元年度は45名の減少になった。

学生会員は、平成30年度は28名の増加であったが、令和元年度は43名の減少になった。

2. 年会報告

第60回大気環境学会年会を、東京農工大学府中キャンパス(東京都府中市幸町)にて令和元年9月18日(水)～20日(金)に開催した。今回の年会においては、例年通りの研究発表、ポスター発表、分科会、特別集会および環境機器展と共に、学会創立60周年を記念して、60周年記念シンポジウム、日中韓国際交流シンポジウム、「大気環境の事典」のお披露目販売等の催しも行われた。第60回年会の参加人数は526名(事前登録436名、当日登録90名)であり、内訳は正会員295名、学生会員94名、法人会員A14名、法人会員B37名、賛助会員18名、名誉会員2名、非会員66名であった。研究発表の件数は315件(一般研究口頭発表:166件、ポスター発表:149件)であった。さらに、学会賞受賞講演2件、60周年記念シンポジウム講演5件、日中韓国際交流シンポジウム講演9件、特別集会4件(講演21件)、分科会9件(講演35件)が行われた。また、企画運営委員会・産官学民連絡協議会合同企画セミナーとして、市民集会(講演4件)が実施された。

環境機器展では、ブース展示27件(30ブース)とカタログ展示9件の参加があった。プログラム集への広告掲載は15件であった。出展企業による技術セミナーは1日目と2日目に昼食付きで2会場で開催し、合わせて14件の発表が行われた。

3. 総会開催

令和元年9月19日東京農工大学府中キャンパス 農学部本館講堂にて、令和元年度総会を開催した。審議及び報告事項は以下の通りである。

1) 平成30年度事業報告、収支決算報告及び監査報告

大泉毅常任理事より平成30年度事業報告及び中井里史常任理事より平成30年度収支決算報告があり、次

に野口泉監事より監査報告がされた。議長より質疑を求めた後、全員一致でこれを決議した。

2) 令和元年度事業計画及び収支予算について

大泉毅常任理事より令和元年度事業計画、及び中井里史常任理事より令和元年度収支予算について説明がされた。事業計画及び収支予算については、定款第 35 条により、事業年度開始前に理事会を開催し、既に承認されているため、本総会では事後報告ということである。

3) 名誉会員の推戴

大原利眞会長より、内山巖雄、坂本和彦、若松伸司会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

4) 第61回大気環境学会年会開催地

第61回大気環境学会年会を令和2年9月16日～18日に長野県松本市のキッセイ文化ホールを主会場、年会長を信州大学教授の野見山哲生会員として開催する予定であることが報告され、承認された。

5) 第62回大気環境学会年会開催地

第62回大気環境学会年会を関東支部の担当で令和3年9月に開催する計画が報告され、承認された。

4. 理事会等開催

4.1. 理事会

1) 定例の会議の開催

第 1 回：令和元年 8 月 14 日 メール審議

審議内容：平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支決算、監査結果等

第 2 回：令和元年 9 月 17 日 東京農工大学府中キャンパス 会議室

審議内容：平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支決算の報告、監査結果、入退会希望者等の承認、60 周年記念募金、第 60 回年会準備状況、第 61 回、第 62 回年会開催計画等

第 3 回：令和 2 年 5 月 8 日 メール審議

審議内容：第 61 回大気環境学会年会の開催方法変更

第 4 回：令和 2 年 6 月 22 日 メール審議

審議内容：令和 2 年度事業計画、令和 2 年度収支予算、入退会者承認、令和 2 年度総会の開催方法と総会議案、名誉会員の推戴等

2) 平成 30 年度事業報告及び収支決算の承認（第 1 回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。

3) 令和 2 年度事業計画及び収支予算の承認（第 4 回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。この結果を受け、令和 2 年 6 月 26 日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

4) 令和 2 年度役員選挙について

新田裕史選挙管理委員長から、令和 2 年度役員選挙よりwebシステムを導入する旨の説明、役員等の選任に関する実施細則（案）、理事及び候補者選挙告示（案）について説明があり、原案通り承認された。

令和 2 年の役員選挙は、6 月 22 日告示、7 月 1 日～7 月 15 日Web投票、7 月 31 日開票結果確定、総会

における承認 9 月 17 日というスケジュールで行うこととした。

5) 名誉会員の推戴について

大原会長から提案があり、原案通り承認された。

4.2. 常任理事会

1) 定例の会議の開催

第 1 回：令和元年 7 月 10 日、第 2 回：令和元年 8 月 14 日、第 3 回：令和元年 12 月 24 日、第 4 回：令和 2 年 5 月 1 日、第 5 回：令和 2 年 5 月 21 日、第 6 回：令和 2 年 6 月 16 日

第 1 回及び第 6 回については、公益社団法人大気環境学会常任理事会に関する規程第 6 条第 3 項に基づく常任理事会の決議の省略の方法によりメール審議とした。また、適宜メール等により必要事項を協議した。

2) 学会賞の選考について（第 6 回常任理事会）

学会賞選考委員会（令和 2 年 6 月 16 日）の報告を受け、原案の通り承認した。

3) 環境省との意見交換会

昨年度に引き続き、環境省水・大気環境局との意見交換会（令和元年 12 月 24 日）を行った。

5. 支部長会

令和元年 9 月 17 日、東京農工大府中キャンパスにて開催し、各支部の報告が行われた。

6. 出版等

1) 大気環境学会誌

第 54 巻 4 号～第 55 巻 3 号の計 6 号（電子ジャーナル）を刊行した。

これに加え、第 54 巻 3 号～第 54 巻 6 号の 4 号分をまとめた POD 版（冊子体）を 2 月に発刊し、法人会員、賛助会員に配付した。

2) 第 60 回大気環境学会年会講演要旨集を刊行（年会事務局）した。

3) 日韓大気環境学会合同英文誌 AJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment)

Vol.13 No.3、No.4、Vol.14 No.1、No.2 を刊行した。

4) 「大気環境の事典」の出版

60 周年記念事業の一環として、「大気環境の事典」を朝倉書店から出版した。

7. 委員会開催

7.1. 倫理委員会

令和元年 9 月 18 日に倫理委員会を開催し、平成 30 年度第 5 回理事会で決定された「論文の作成と審査に関する諸課題に対する学会スタンス」を確認した。

7.2. 国際交流委員会

第 60 回大気環境学会年会に、中国環境科学学会大気分会および韓国大気環境学会から研究者を招聘して日中韓国際交流シンポジウムを開催した（令和元年 9 月 18 日）。シンポジウムの後、日中韓会合を行い今後の

国際交流、AJAE 等関連事項について議論した。次に、令和元年 9 月 24 日、東京農工大学において、中国環境科学学会の Hou Xuesong 副事務長、Chen Yongmei 理事らの視察を受け入れ、松田委員長と櫻井委員が対応した。さらに、中国環境科学学会大気環境分会年会（令和元年 11 月 16～19 日、中国成都）に、松田委員長、櫻井委員、奥田 AJAE 委員長および高見理事が参加し、日中韓シンポジウムにおいて講演を行った。

7.3. 学会賞選考委員会

令和 2 年 5 月 31 日を締め切りとして、令和元年度の大気環境学会賞の公募を行なった。学会賞選考委員会（令和 2 年 6 月 10 日、zoom 会議）を開催し、学会賞各賞の選考を行なった。この結果は、常任理事会に報告した。

7.4. 編集委員会（編集実務委員会）

1) 定例の会議の開催

定例の会議を開催して学会誌の編集企画を行い、計 6 号（第 54 巻第 4 号～第 55 巻第 3 号）を刊行した。また、適宜メール審議により必要事項を協議した。

第 1 回：令和元年 7 月 26 日、第 2 回：同 9 月 20 日、第 3 回：同 11 月 29 日、第 4 回：令和 2 年 1 月 28 日、第 5 回：同 3 月 24 日、第 6 回：同 5 月 29 日

2) 論文審査

令和元年度に投稿のあった 18 論文について、掲載可否の審査を行った。

3) 入門講座等の企画・掲載

入門講座を企画、掲載した。また、あおぞら、支部・分科会日より、研究室紹介を毎号掲載した。

4) その他

入門講座および解説のダウンロード販売を行った。J-STAGE の閲覧データを解析し、ホームページ上に J-STAGE アクセスランキングをアップした。

7.5. 論文賞選考委員会

1) 論文賞の選考対象論文

大気環境学会誌第 54 巻および AJAE 第 13 巻に掲載された論文とした（全 21 編）。編集委員による推薦（一次評価）と論文賞選考委員会における選考（二次評価）の 2 段階選考とした。

2) 論文賞の選考

一次、二次評価を受けて、論文賞選考委員会（令和 2 年 6 月 11 日）を開催し、最優秀論文賞 1 編、部門別論文賞 4 編を論文賞候補として常任理事会に推薦した。

7.6. 広報委員会

1) 活動状況

① 学会広報体制の充実

ホームページのトップに掲載するバナー広告の募集を行い、1 件の応募を得た。

② メーリングリストの整備

会員との情報交換ツールとしての電子メールの活用に向け、会員のメールアドレス収集を図った。

③ 第 33 回環境工学連合講演会（日本学術会議主催）への参画

例年通り、日本学術会議主催の講演会（総合テーマ「SDGsに向けた環境工学の役割」）において学会を代表して米持会員が講演（「磁場を用いた光触媒担体作製と大気環境研究への適用」）を行うことになっていたが、コロナ禍で中止になった。

2) 委員会の開催

令和元年度年会の期間中に委員会を開催し、広報活動及び事務局移転に伴う支援業務等について協議した。

7.7. 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

令和元年9月20日、東京農工大学府中キャンパスにおいて、セミナー「大気環境データの国民への即時提供－観測と予測－」を大気環境学会60周年記念セミナーとして開催した。

7.8. AJAE 委員会

第60回年会開催期間中の令和元年9月18日にAJAE委員会を開催した。韓国大気環境学会と協力して、AJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment) Vol. 13 No. 3, No. 4, Vol. 14 No. 1, No. 2 を発行した。

7.9. 「大気環境未来 60」募金委員会

令和元年6月30日を締め切りとして、令和元年度の「大気環境未来 60」募金を活用した事業の公募を行い2件の応募があった。大気環境未来60募金委員会（令和元年7月8日）を開催し、応募2件を採択した。令和2年7月10日を締め切りとして、令和2年度の「大気環境未来 60」募金を活用した事業の公募を行ったが、応募件数は0であった。大気環境未来60募金委員会（令和2年7月20日、zoom会議）を開催し、次年度公募の方針を検討した。

7.10. 60周年記念事業委員会

60周年記念事業として、① 60周年記念年会(第60回年会)の開催、② 国際交流シンポジウム(第60回年会時)の開催、③ 大気環境の事典(朝倉書店)の出版披露(第60回年会時)、④ 「大気環境未来 60」募金、⑤ 大気環境学会誌60周年記念論壇への協力を実施した。

7.11. 選挙管理委員会

令和2年度役員(理事・監事)候補者選挙をweb方式で行うための選挙システムの準備を進めるとともに、それに伴う規程、実施細則等の見直しに関する検討を行った。

8. 支部報告

8.1. 北海道・東北支部

1) 支部総会、支部学会等：令和元年11月22日（岩手県民情報交流センター「アイーナ」）、参加者数約30名

① 支部総会：平成30年度支部活動報告及び決算報告、令和元年度支部活動方針及び予算案の承認

② 支部学会：一般研究11題、特別講演2件（岩手大学理工学部 石川奈緒准教授、岩手県環境生活部廃棄物特別対策室 八重樫満様）

8.2. 関東支部

1) 支部総会：令和2年6月12日（WEBによる開催（国際文献社会議室を起点に実施）

① 議事：令和元年度支部・部会活動報告、令和元年度中間会計報告、令和2年度活動計画案、令和2年度

予算案、参加者 142 名（うち委任状 117 名）

2) 支部役員

第 1 回役員会（令和元年 11 月 12 日）、第 2 回役員会（令和 2 年 1 月 17 日）、第 3 回役員会（令和 2 年 3 月 16 日、メール開催）、臨時役員会（令和 2 年 4 月 15 日、メール開催）、第 4 回役員会（令和 2 年 5 月 26 日、メール開催）

3) 支部講演会

令和 2 年 6 月 12 日にムーブ町屋にて支部講演会の開催を予定し準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、講演会は中止した。

4) 部会活動報告

① 酸性雨部会

講演会「第 32 回酸性雨東京講演会・反応性窒素の大気沈着について考える（第 4 回）」（期日：3 月 9 日、場所：日本環境衛生センター東京事務所）を計画し準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止した。

② 植物影響部会

講演会「神奈川県（丹沢）の大気環境と自然（主催：大気環境学会植物分科会、共催：関東支部植物影響部会）」（期日：令和元年 12 月 20 日、場所：かながわ県民センター ホール）を以下のとおり開催した。

講演 5 件、参加者 31 名

③ 粒子状物質部会

講演会「関東地方大気環境対策推進連絡会講演会（主催：関東地方大気環境対策推進連絡会、共催：関東支部粒子状物質部会）」（期日：令和 2 年 6 月 1 日、場所：栃木県庁会議室）を計画し準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止した。

④ 室内環境部会

講演会「加熱式たばこの現状と研究動向（主催：大気環境学会室内環境分科会、共催：室内環境学会 化学物質分科会、大気環境学会関東支部室内環境部会、後援：産業技術総合研究所 安全科学研究部門、におい・かおり環境協会）」（期日：令和 2 年 5 月 22 日、場所：産業技術総合研究所 臨海副都心センター）を計画し準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止した。

5) 関東支部会員のメールアドレスの収集

関東支部に所属する正会員について、本部事務局と連携してメールアドレスを収集し、連絡の効率化を図った。関東支部には正会員 417 名が所属し（令和 2 年 5 月 1 日現在）、そのうちの 412 名について連絡可能なメールアドレスが把握できた。したがって、連絡可能なメールアドレス収集率は約 99%となった。

8.3. 中部支部

1) 支部総会：令和 2 年 4 月 27 日（月）（zoom を使ったオンライン会議）、令和元年度事業経過報告・決算見込み、令和 2 年度事業計画・予算案、第 61 回大気環境学会年会について

2) 評議員会：令和 2 年 2 月 21 日～4 月 10 日（メール審議）、支部総会の開催日程、総会の議題、開催の延期・再開等について；令和 2 年 6 月 2 日～8 日（メール審議）、支部評議員の選挙について

- 3) 公開講演会：当初は令和2年3月10日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- 4) 支部評議員選挙：投票期間は令和2年6月13日～7月15日、開票は7月20日

8.4. 近畿支部

- 1) 支部総会・シンポジウム：令和元年7月12日（大阪市立環境科学研究センター）

総会：平成30年度事業・収支決算報告、委員会・部会報告、令和元年度計画・予算の承認

シンポジウム：「気候変動に関する取り組みの最前線」、講演3題、参加者51名

- ① 兵庫県における気候変動適応への取り組み、星野美佳（兵庫県農政環境部環境管理局）
- ② 埼玉県における気候変動適応の取り組み－都市ヒートアイランドおよび気候変動への適応－、原政之（埼玉県環境科学国際センター）
- ③ 大気汚染と温暖化を招く短寿命気候強制因子(SLCFs)：オゾンやブラックカーボンの動態はどこまでわかったか、金谷有剛（海洋研究開発機構）

- 2) 理事会・運営幹事会：令和元年7月12日（第1回）、令和2年1月27日（第2回）

- 3) 委員会・部会活動

- ① 学術委員会：大気環境学会近畿支部研究発表会、令和元年12月25日、大阪府大 I-site なんば、一般発表19件、大気環境未来60「小中高生を対象とした大気環境に関する啓蒙活動」採択事業報告1件、特別講演1件、参加者52名
- ② 情報・広報委員会：大気環境学会近畿支部ホームページの運営
- ③ 気象拡散部会：講演会「放射性物質の環境動態と影響評価」、令和2年4月17日、大阪府大 I-site なんば、講演2件を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ④ 反応と測定部会：講演会「大気粒子の酸化能」、令和2年4月27日、大阪府大 I-site なんば、講演2件を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ⑤ 人体影響部会：セミナー「大気汚染物質と妊婦・子どもの健康影響」、令和2年3月18日、大阪健康安全基盤研究所、講演2件を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ⑥ エアロゾル部会・植物影響部会：合同講演会「気候変動及び大気汚染による植物影響」、令和2年3月2日、大阪府大 I-site なんば、講演3件を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

8.5. 中国・四国支部

- 1) 支部総会：令和2年6月8日（支部ホームページへの資料掲載による開催）

令和元年度事業報告・収支決算報告及び令和2年度事業計画・予算計画について

- 2) 大気環境学会・日本水環境学会・廃棄物資源循環学会中国・四国支部合同講演会

令和2年5月22日に高松市での開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって当面延期

- 3) 支部ニュースレター

令和元年7月、8月、令和2年4月、6月の4回配信

8.6. 九州支部

- 1) 支部総会：令和2年3月11日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール等を利用して議事を進

行し、メール返信によって承認を確認した。)

議事：平成 30 年度事業実施報告及び収支決算報告、令和元年度事業計画及び予算、支部役員の交代、出席者（メール等配信者数）70 名 承認者 37 名（過半数 35 名）

2) 支部役員会

令和 2 年 3 月 6 日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール等を利用して議事を進行し、メール返信によって承認を確認した。)

議事：平成 30 年度事業実施報告及び収支決算報告、令和元年度事業計画及び予算、支部役員の交代、出席者（メール等配信者数）12 名 承認者 12 名

3) 支部研究発表会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演要旨集配付による紙上開催とした。

特別講演：「地球温暖化と将来予測」長井 秀樹 先生（福岡管区気象台）

一般講演：9 演題の研究発表（大気環境：5 演題 室内環境：4 演題）

9. 分科会等報告

9.1. 植物分科会

1) 年会分科会 令和元年 9 月 18 日(第 60 回大気環境学会年会)

テーマ：「大気環境の変化が水田の窒素循環や植物に与える影響に関する最近の話題」講演 2 件、参加者 26 名

2) 講演会の開催（関東支部植物影響部会との共催）令和元年 12 月 20 日（神奈川県民センター）

テーマ：「神奈川県（丹沢）の大気環境と自然」講演 5 件、参加者 31 名

3) 世話人会議

令和元年 8 月 27 日、11 月 11 日、令和 2 年 5 月 8 日に開催

9.2. 大気環境モデリング分科会

1) 年会分科会 令和元年 9 月 12 日（第 60 回大気環境学会年会）

テーマ：「J-STREAM で分かったこと分からなかったこと」講演 11 件、参加者 13 名

2) 「Summer Session 2019 Tsukuba on Air Quality Modeling in Asia」を主催 令和元年8月20日（場所 つくばイノベーションプラザ）講演5件、参加者38名

3) 研究集会の開催（主催：九州大学応用力学研究所共同利用研究集会） 令和2年2月21-22日（九州大学）

テーマ：「第 4 回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」講演13件、参加者約25名

9.3. 酸性雨分科会

1) 年会分科会 令和元年 9 月 18 日（第 60 回大気環境学会年会）

テーマ：「酸性雨調査研究を振り返り、今後の展望を考える」講演 3 件、参加者 57 名

2) 講演会の開催

東京講演会、大阪講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

3) メールニュースの発行

442～454号まで13回発行（メール会員239人）（2020/5/11現在）

9.4. 環境大気モニタリング分科会

1) 年会特別集会（全国環境研協議会との共催）令和元年9月19日（第60回大気環境学会年会）

テーマ：「光化学オキシダント・PM2.5低減のための大気質モニタリング」 講演3件、参加者94名

2) 幹事会の開催：

令和元年12月6日に第46回研究会の企画、テーマ、構成について検討した。

9.5. 健康影響分科会

1) 年会分科会：令和元年9月18日（第60回大気環境学会年会）

テーマ：「新紀年の健康影響問題：大気中浮遊粒子状物質に着目して」、講演3件、参加者48名

9.6. 自動車環境分科会

1) 年会分科会 令和元年9月18日（第60回大気環境学会年会）

テーマ：「移動発生源データにおけるMisreadの罨」 講演4件、参加者40名程度

2) 大気環境学会誌入門講座の執筆

「自動車の排出ガス・粉じんと大気環境」（第54巻第2号～第55巻第4号に全8講を掲載（ただし第8講は令和2年度活動）

9.7. 室内環境分科会

1) 年会分科会 令和元年9月18日（第60回大気環境学会年会）

テーマ：「室内環境の新しいみかた ～特殊空間における空気質とセンシング～」、講演3件、参加者22名

2) ミーティングの開催

令和元年11月15日、令和2年1月23日、令和2年4月23日

3) 大気環境学会誌入門講座の執筆

第54巻4号～第55巻3号に掲載

※公開講演会（テーマ「加熱式たばこの現状と研究動向」）について、2020年5月22日に江東区青海の産業技術総合研究所 臨海副都心センターで開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、告示直前の2020年3月末に延期を決定した。期中に開催することができず、現在、延期中である。

9.8. 放射性物質動態分科会

1) 年会分科会 令和元年9月18日（第60回大気環境学会年会）

テーマ「福島県内における大気中放射性物質濃度の現状」、講演5件、参加者約30名

2) 書籍の出版

「Environmental Contamination from the Fukushima Nuclear Disaster -

Dispersion, Monitoring, Mitigation and Lessons Learned」 Cambridge University Press

（第54巻第5号に掲載）

9.9. 臭気環境分科会

1) 年会分科会 令和元年9月18日（第60回大気環境学会年会）

テーマ：「最近の悪臭防止行政の動向と畜産農業・堆肥化施設の悪臭対策～環境省の事例集を中心に～」

講演 3 件、参加者 26 名

2) 施設見学会の開催：令和元年 9 月 17 日（埼玉県内の堆肥化施設）参加者 10 名

9.10. 都市大気エアロゾル分科会

1) 年会分科会 令和元年 9 月 17 日（第 60 回大気環境学会年会）

テーマ：「PM_{2.5}の 10 年を振り返る—これからのエアロゾルと大気環境のために—」、講演 7 件、参加者約 90 名)

2) その他

分科会ホームページのリニューアル 令和元年 9 月

9.11. シニア分科会

1) 講演会の開催 令和元年 12 月 17 日（大気環境総合センター会議室）

テーマ：「発生源対策と光化学大気汚染の動向」 講演 1 件、参加者 20 名

2) その他

分科会ホームページの開設 令和元年 10 月 15 日（令和元年度で活動終了につき、公開も令和元年度のみ）

9.12. 気候変動研究会

1) 年会特別集会 令和元年 9 月 20 日（第 60 回大気環境学会年会）

テーマ「気候変動に伴う大気環境変化と自治体の対応について」 講演 5 件、参加者約 80 名

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

令和2年7月

公益社団法人 大気環境学会